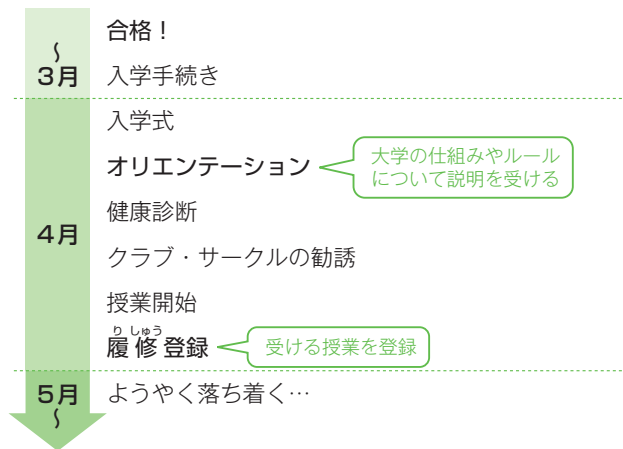


大学生生活のスタート

合格が決まってから大学の授業が本格的に始まるまでのスケジュールは、だいたいこのような流れです。

入学初年次のスケジュールの例



オリエンテーションや履修登録など、あまり聞き慣れない言葉も見られますね。大学の仕組みは高校までと違うところがたくさんあります。どんなところが違うのか、見ていきましょう。

高校と大学の違い

✓ 時間割は自分で作る!

高校と大学のいちばんの違いは、大学では「いろいろなことを自由に決められる」ということでしょう。たとえば、時間割です。大学では、受ける授業を自分で選んで、「自分だけの時間割」を作ります。学科や専攻が同じでも、人によって時間割が違うのが当たり前です。

次は外国語の授業...



✓ 大学にはホームルームがない!

大学には、高校までのような決まったクラス（ホームルーム）がありません。高校では授業ごとに先生が教室に来てくれますが、大学では、学生が自分で決めた時間割に従って教室を移動します。

▶授業はいろいろな人と一緒に授業によっては他学部や他学年の人と一緒にすることもありますが、教室で座る席も基本的に自由です。

✓ 「自由」 だけど 「責任」 も生まれる

時間割などを自由に決められる反面、必要な授業の確認や受ける授業の登録（履修登録）などは、自分の責任でしなくてはなりません。大学では、何ごとにおいても自発性が求められるのです。

▶必要な情報は掲示板で必要な情報は掲示板を必ず見ます。掲示の見落としで不利益が生じては学生の責任とされるので、「大学に行ったらまず掲示板を見る」またはインターネットの掲示サイトに必ずアクセスするという習慣をつけましょう。

高校と大学の違い

| 高 校 | | 大 学 |
|--------------------------------|------|------------------------------|
| クラスごとに時間割があり、受ける授業が決まっている。 | 時間割 | 受ける授業を自分で選んで登録し、自分だけの時間割を作る。 |
| クラスごとに決まった教室があり、科目ごとに先生が教えに来る。 | 教室 | 自分で選んだ授業ごとに違う教室に移動する。 |
| 50分 | 授業時間 | 90分 |

掲示は毎日確認!

